

交差点編（優先道路）

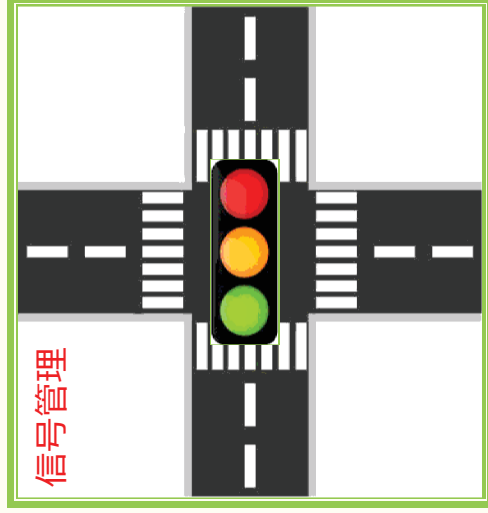


優先道路の見極め

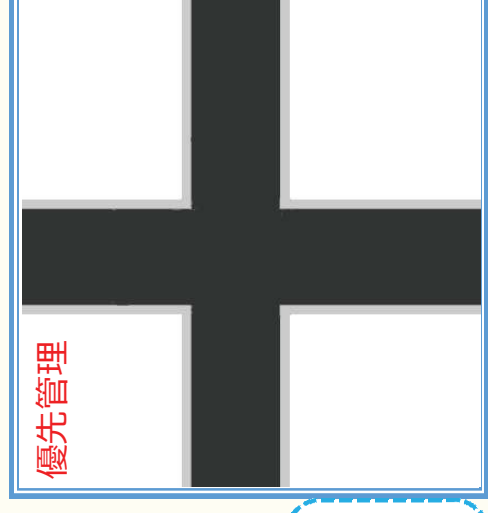
交差点～大まかな考え方～

見せる
説明する

交差点は、構造的に2種類で成り立っています。**信号管理**交差点と**優先管理**交差点です。
信号は信号に従えば良いと考えると、**優先管理交差点の優先関係さえ正確に把握**してしまえば、走行に必要なルールは、ほぼ全てマスターできてしまいます。



左折時のチエック・対処
右折時のチエック・対処
右折交差点の種類



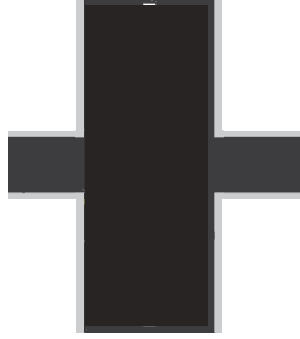
優先道路の見極め
優先対処
非・優先対処

優先道路の基本ルール

見せる
説明する

まずは、信号の無い交差点における**優先ルール**を明確にしましょう。
優先ルールは下記の通りです。

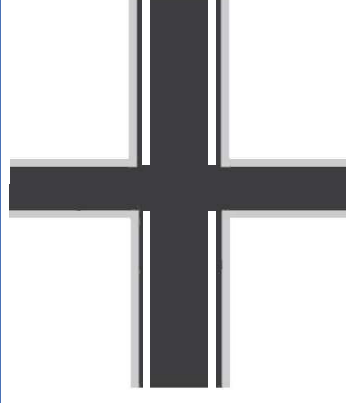
道幅が広い方が優先です。



線がある方が優先です。



中央線



車両通行帯

総合判断

原理原則だけの判断はとても難しい

見せる
説明する

しかし、原則論だけで判断するのは、実はとても難しいのです。



相手の道路の方が広い？

相手の道路には線がある？

見えないのに判断出来ますか？

一時停止で大きな判断をしていきましよう

見せる
説明する

「見え難い」「難しい」。だったら「止まれ」を付けてしまえば良い。
という事で、**ほぼ全ての交差点**で、どちらか一方に「止まれ」が設置されています

セットで表示
されています



「止まれ」がある → 「非優先」確定
「止まれ」が無い → 「ほぼ優先」

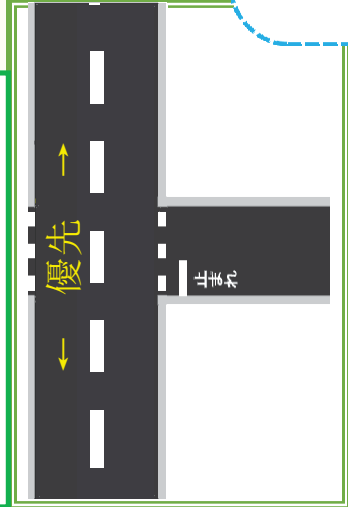
【Point】

相手側の道路に「止まれ」と書いてあったら、
自分の優先が確定します。

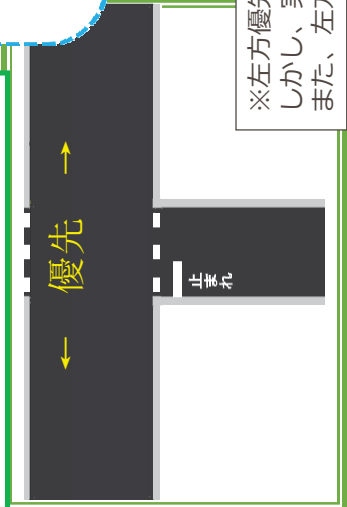
T字路での優先関係は簡単です

見せる
説明する

中央線 + 点線 + 停止線

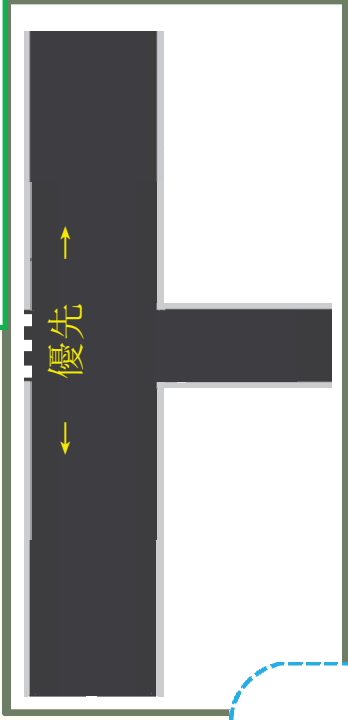


点線 + 停止線

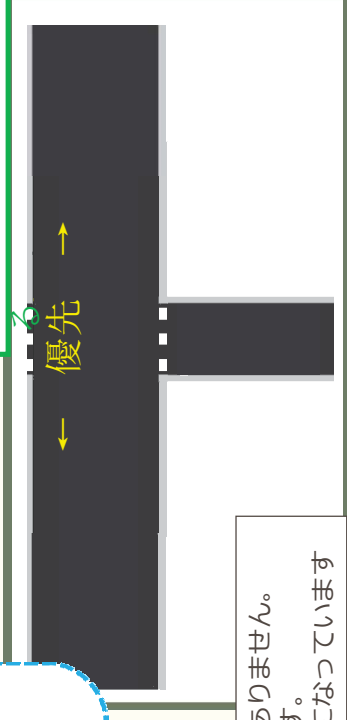


T字路の解釈は
全て一緒

何も書いてない



点線だけ書いてある



※左方優先という解釈が絡むため厳密には正しくはありません。
しかし、実際には図のルールで世の中は動いています。
また、左方優先が適用される交差点は非常に限定的になっています

こんなケースは、ほぼ優先です。

適宜使用

9割9分 優先です



自分には停止線がありません。
相手には停止線があります。

優先確定です



「停止線」 + 「止まれ」の文字の頭が少し
見えます

こんなケースは優先確定です。

適宜使用

優先確定です



自分には停止線も点線もありません。
相手には点線があります。

優先確定です



自分には停止線も点線もありません。
相手には停止線も点線もあります。

横断歩道が絡む勘違いケース

適宜使用

優先です



優先です



自分に停止線がありますが「止まれ」とは書いていません。
この停止線の意味は「横断歩行者がいる場合は止まりなさい」となります。

車を降りて
確認してみよう

カラー路面の役割り

適宜使用



カラー路面には、法律上の明確な規定はありません。
危険な箇所を周知させる**目的**で施工されています。



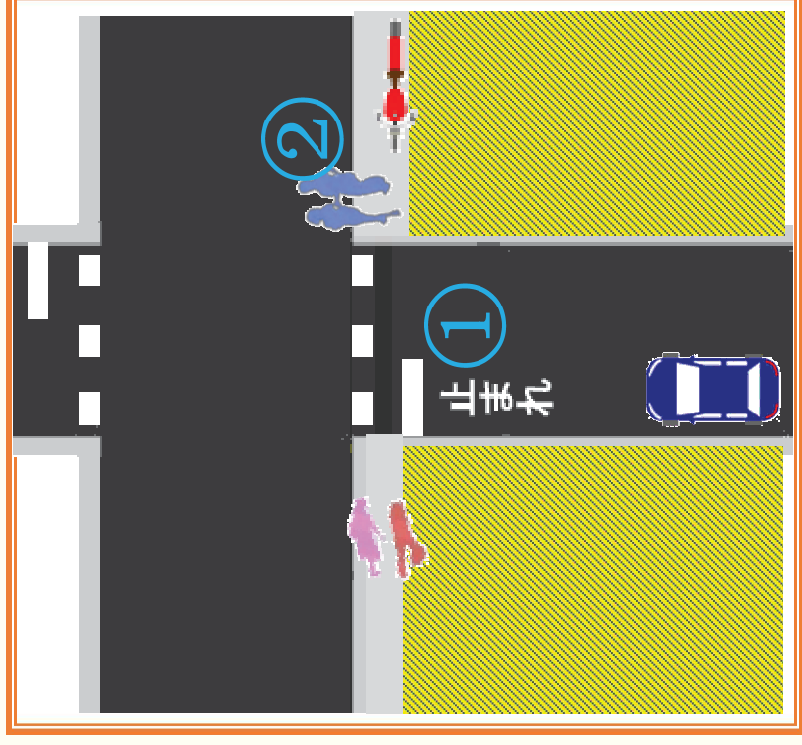
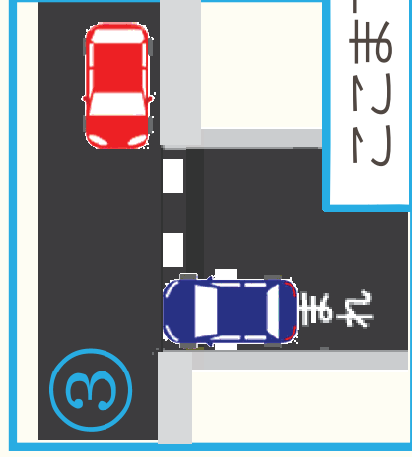
非・優先道路での対応

「止まれ」の手順を3ステップで覚えよう

体験する
根幹ワード

3ステップで覚えよう

- ① 止まる (停止線で止まりましょう)
- ② 首振り (歩行者チェックをしましょう)
- ③ 道路際 (点線まで進みましょう)

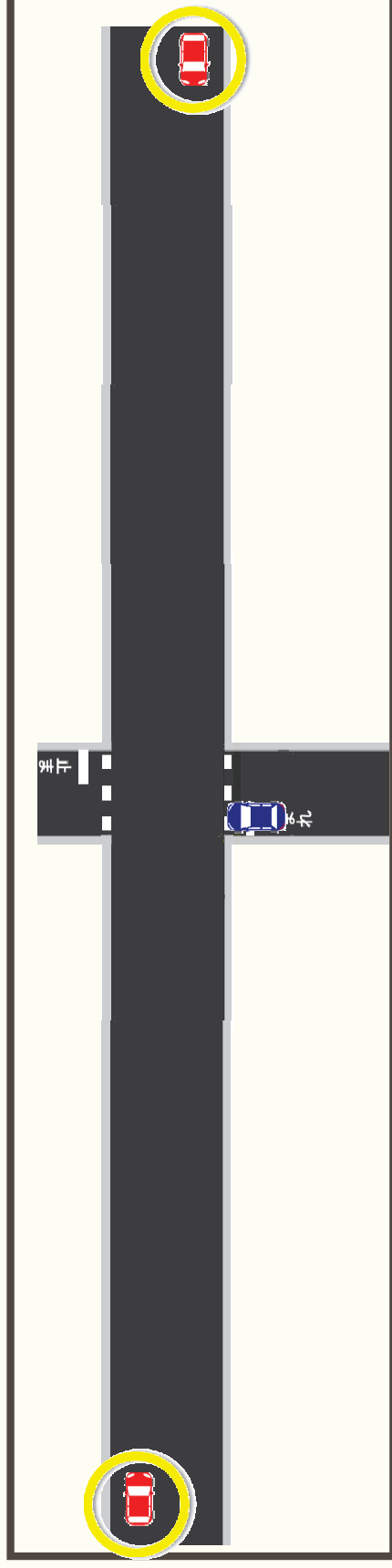


非・優先道路で安全を守るたった一つのポイント

体験する
根幹ワード

「非・優先道路」で安全を守るたった1つのポイント

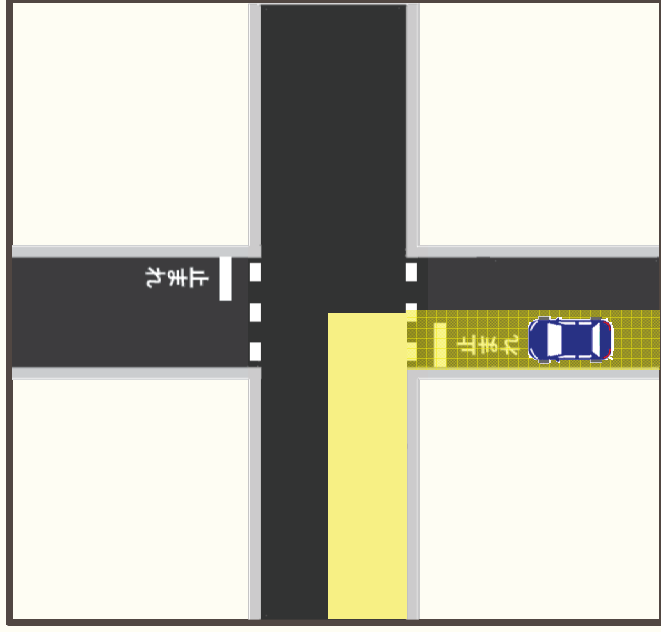
遠くまでチェック出来たら進みましょう



複合動作

実践する
根幹ワード

図の様な交差点で左折する時は、**黄色スペースの範囲内で走行**しなければなりません。
その際に極めて重要になる操作が「複合動作」です。



「確認」と「走行ライン」は「両立」させなければいけません。

不慣れな内は左折する際に膨らんでしまい、**ラインオーバー**をしてしまう傾向にあります。

確認に気を取られ、確認が終わってからハンドルを回し始めてしまうためです。

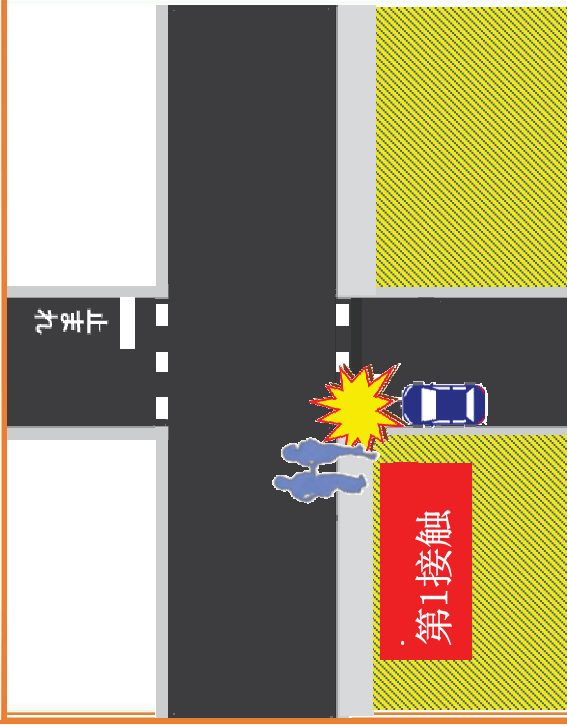
【根幹ワード】

- ・「回しながら」
- ・「確認しながら」

一時停止での接触の順番

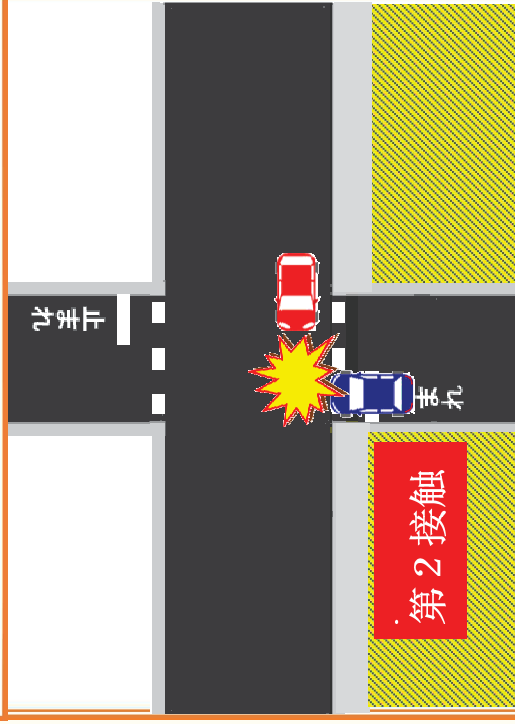
見せる
説明する

①歩道の歩行者や自転車との接触



青車の見落としが主な原因

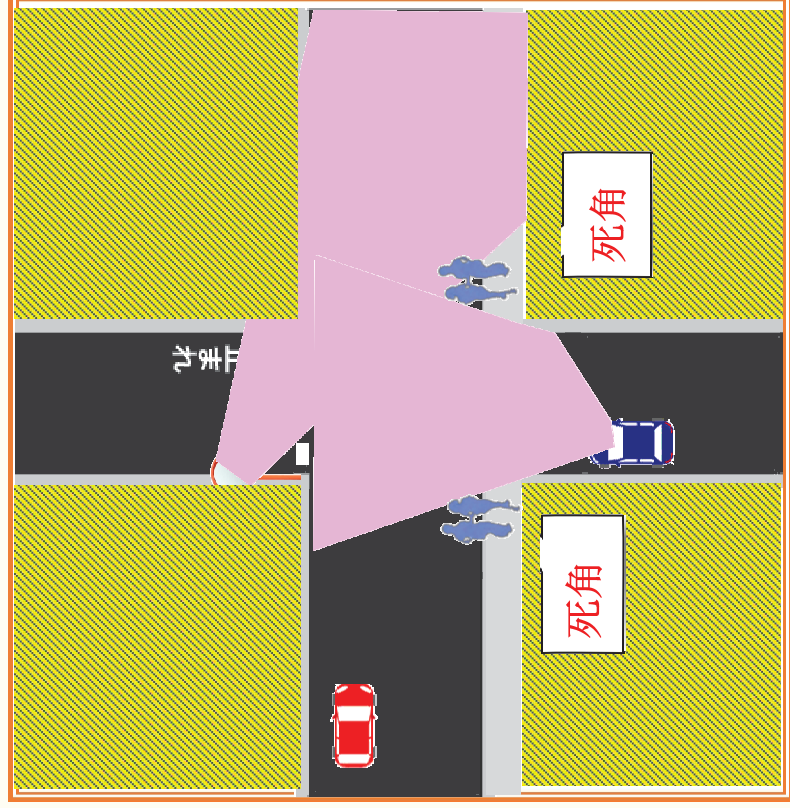
②右方車両との接触



A: 青車のルーズな前進
B: 赤車のスピード超過（優先過信）

カーブミラーを活用してみよう

見せる
説明する

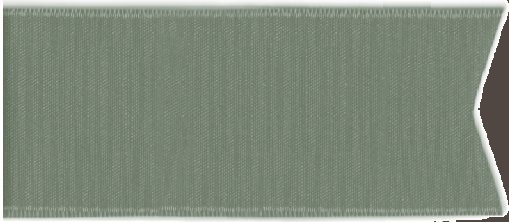


カーブミラーを活用しよう

・正面のカーブミラーをチェックしてみよう。
正しい判断を助けてくれます。

カーブミラーにも死角があります

・カーブミラーにも死角は存在します。
ミラーは**最初の状況確認**に使いましょう。
最終的な安全確認は目視で行ないます。



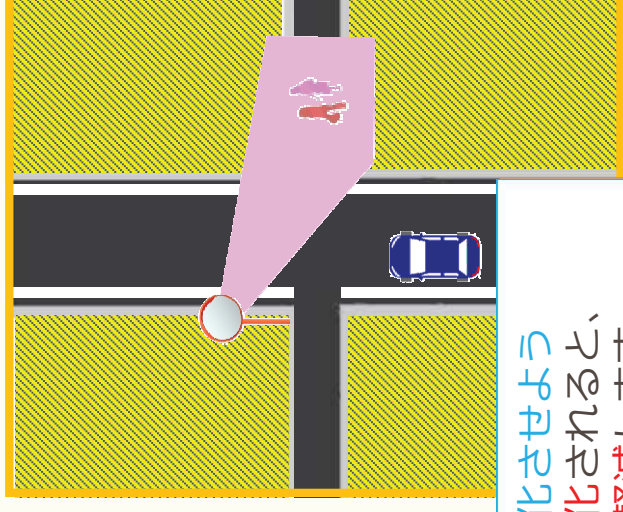
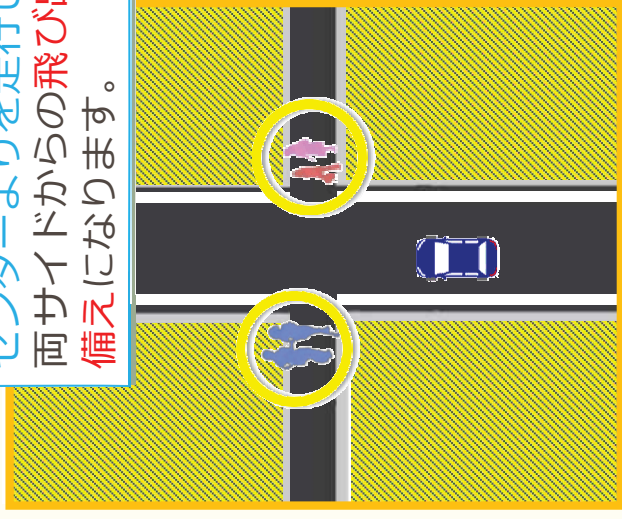
優先道路での対応

優先道路での習慣化ポイント

質問して
チェックする

優先道路では2つのポイントを実践してみよう。

センターよりを走行してみよう
両サイドからの飛び出しに対する
備えになります。

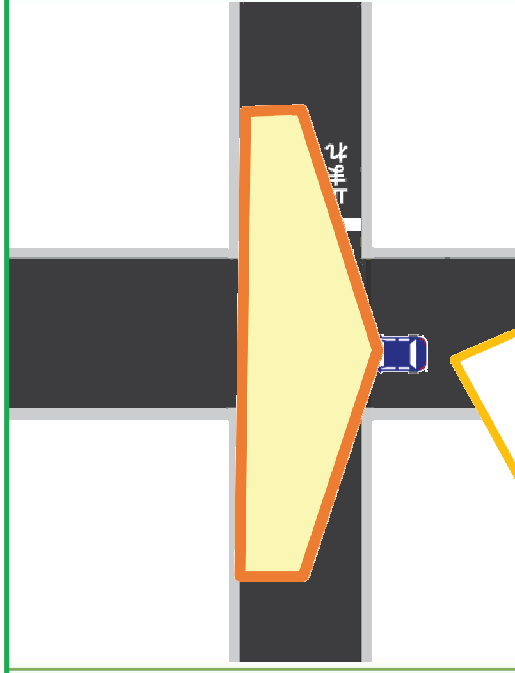


ミラーチェックを習慣化させよう
ミラーチェックが習慣化されると、
事故リスクがガクンと軽減します。

優先道路の通過スピード

見せる
説明する

優先道路は軽チェック



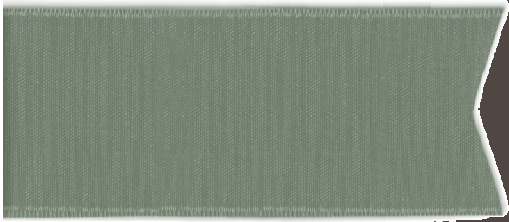
遠くまで見えなくても大丈夫
直近の安全だけ確保しましょう

優先道路は徐行で通過しよう

最も危険な行為は**優先過信**です。
『優先だから』という理由で、飛び出しのケアや減速を行わない車両が、事故リスクを高めています。

減速し過ぎも問題アリ

後続車が予測できない減速をしてしまうと、**追突事故のリスクが高まってしまう**。
教習で適切なスピード感覚を身に付けましょう。

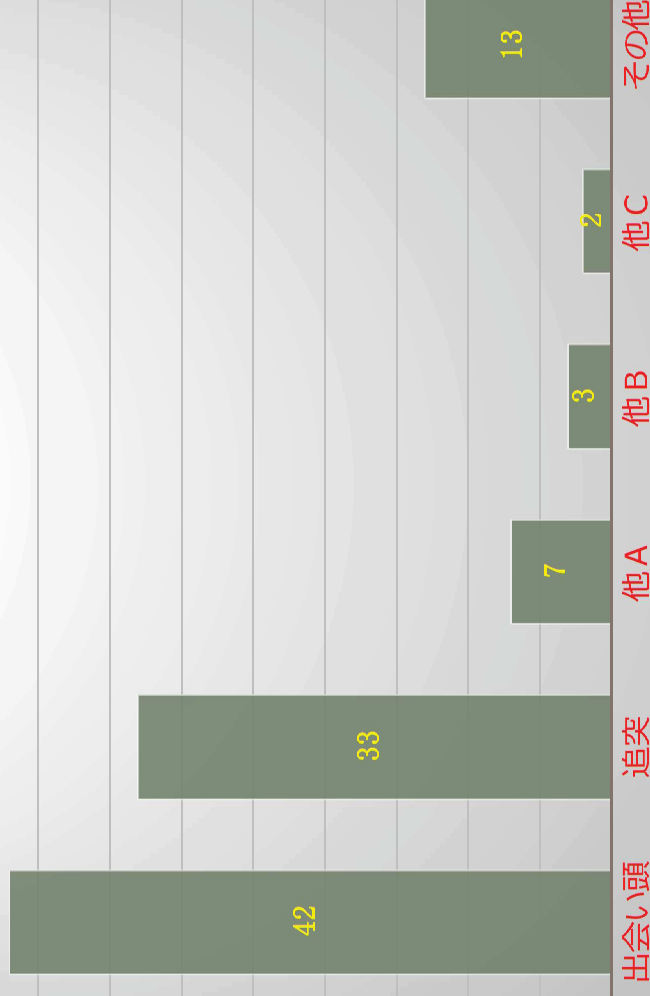


安全を守るための意識と予測運転

2 大事故 「出会い頭」と「追突事故」

復習させる
適宜使用

人身事故における事故種別の割合



「出会い頭事故」 42 %
「追突事故」 33 %

この二つの事故を防ぐ事が出来れば、事故の確率を大幅に減らす事が出来ます。

追突事故を防止するのは簡単です。車間を空ければ良いだけです。

問題の「出会い頭事故」ですが、これは、予測運転の精度を高めて対処していきましょう。

「かもしれない運転」
が大切です。

「優先過信行動」と「かもしれない運転」

復習させる
適宜使用

かもしれない運転



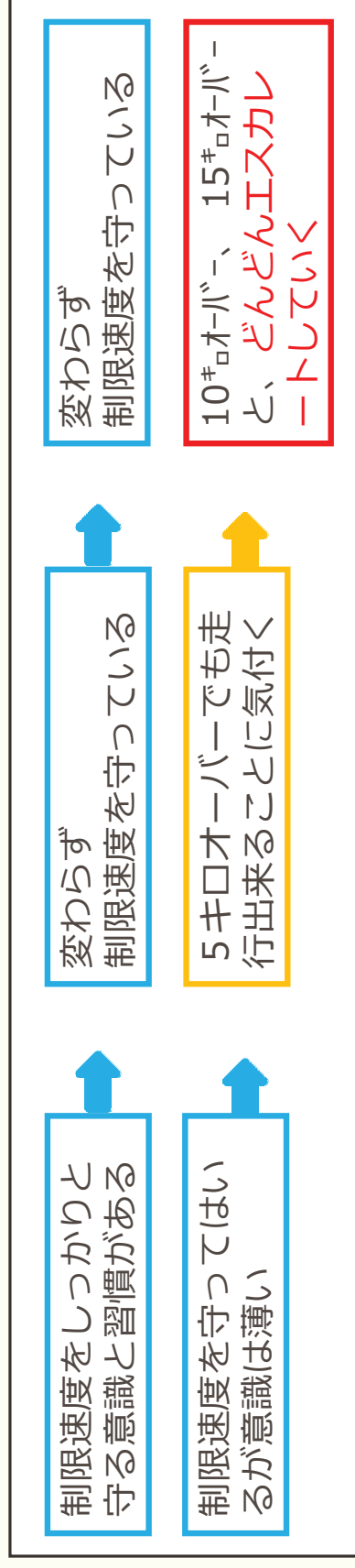
「飛び出してくるかもしれない」
→
「飛び出しに備えておこう」
→
・減速や徐行
・カーブミラーの確認
・やや中央寄りを走行する
(=左側の安全マージンの確保)

「自分が優先」
→
「飛び出して来る方が悪い」
→
・スピード超過
(確認が取れるギリギリのラインを攻めてしまう)

優先過信行動

負の成功体験

復習させる
適宜使用



5キロオーバーでも問題なく運転出来た。
という成功体験を積み重ねてしまうと、それはやがてエスカレートして行きます。
この現象が「負の成功体験」です。

大切な事は、最初の段階で **正しい行動を習慣化させる事**です。

復習させる
適宜使用

飛び出しの注意の基本形 ～見通しの悪い交差点～

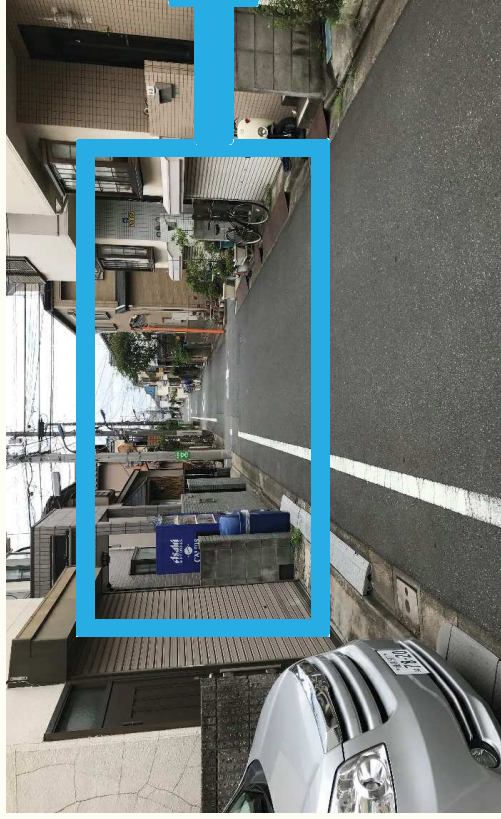
見通しの悪い交差点



飛び出しがあるという前提で走行する事が大切です。
左側からの飛び出しは、回避するための空間が**無い**ので、特に要注意です。

飛び出しの注意の基本形 ～見通しの悪い交差点～

復習させる
適宜使用



交差点を示す記号が書かれています。
オレンジ色のカーブミラーもありますね。
早い段階で気付けるかがポイントです。

飛び出しの注意の基本形 ～見通しの悪い交差点～

復習させる
適宜使用



左サイドの白線が、左にカーブしているのが確認できます。



飛び出しの注意の基本形 ～横断歩道～

復習させる
適宜使用



法規上は**一時停止**です。

実際には一時停止を行なっている車両は見かけませんが、危険なシチュエーションである事には変わりありません。

最低でも「最徐行」で通過しましょう。

- ①車の窓越しに確認する
- ②車の足元を確認する

確認を習慣化させよう

飛び出しの注意の基本形 ～渋滞の影～

復習させる
適宜使用

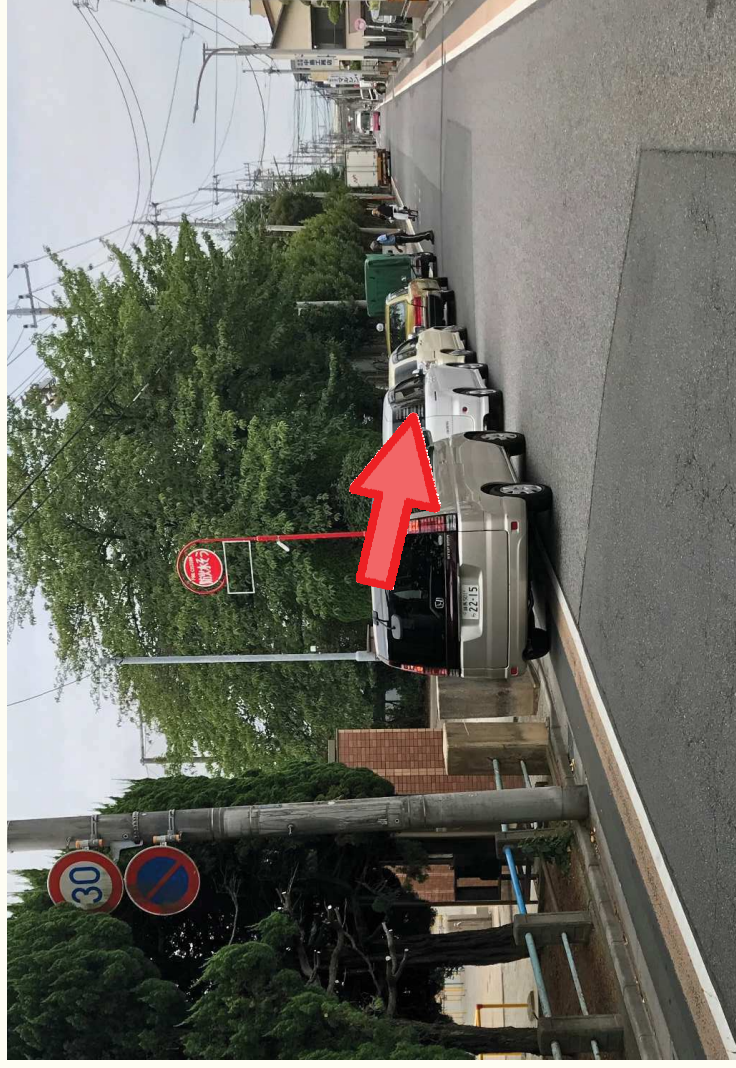


信号待ちや渋滞中の「車の陰からの横断者」も「定番」の注意シチュエーションです。

歩行者の横断は、思いの他多く見受けられ、一定の確率で事故が発生しています。

飛び出しの注意の基本形 ～停車車両の影～

復習させる
適宜使用



車の陰からの飛び出しは
「定番の中の定番」です。

停車車両の基本的な確認方法
は下記のとおりです。

- ①車の窓越しに確認する
- ②車の足元を確認する

上記2点を習慣化出来ると、
安全度はグッと増します。

飛び出しの注意の基本形 ～公園等の出入口～

復習させる
適宜使用



人の気配がありそうな場所の出入口も警戒対象です。



座っている人が確認できました。結果としてスピードを落とさずとも、意識をしておく事はとても大切です。

飛び出しの注意の基本形 ～お店の出入り口付近～

復習させる
適宜使用

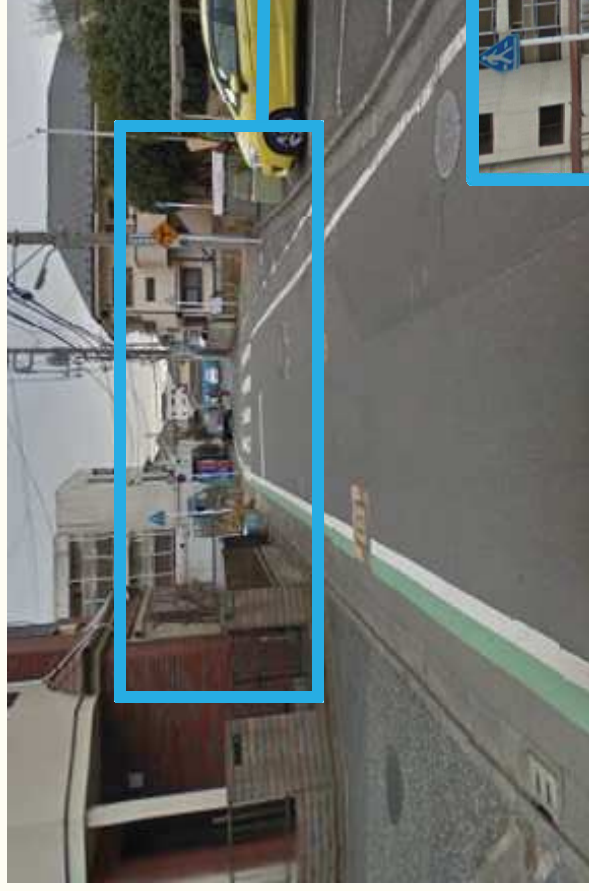


のぼりが設置されています。お店の気配があられますね。



飛び出しの注意の基本形 ～遊歩道～

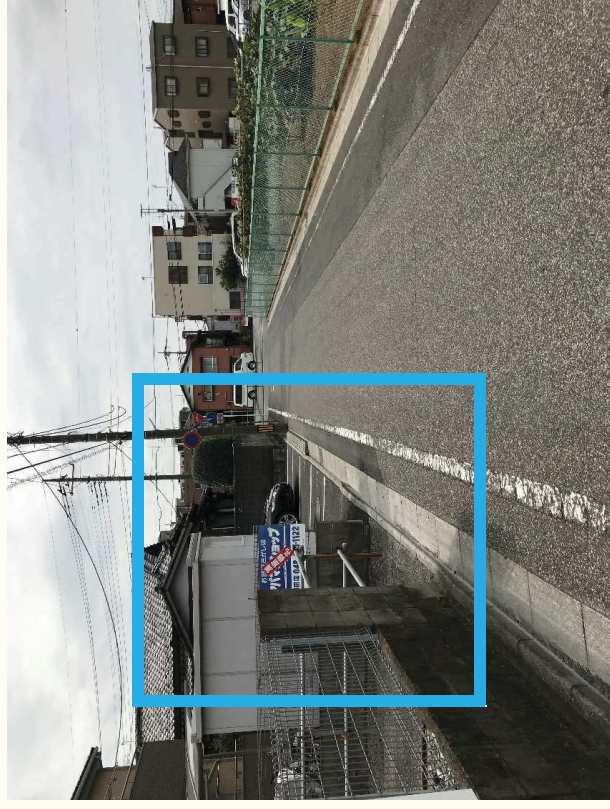
復習させる
適宜使用



遊歩道は横断者が多い場所が多々あります。
十分な減速と確認を行ないましょう。

飛び出しの注意の基本形 ～家や駐車場の出入口～

復習させる
適宜使用



これらのケースでは急に飛び出てくる事は稀ですが、注意を向ける一要素として意識の中に取り入れておきましょう。